

93.8.13

<第三种郵便物認可>

産 経 新 聞

パークレンジャー本格始動

大阪府民の森

自然保護のリーダーへ

フィールド 実地研修や講習会



子供たちとフィールドワークをするレンジャーたち＝交野市の府民の森「くろんど園地」で

金剛・生駒山系に計八カ所ある「大阪府民の森」。緑いっばいの公園を訪れる人たちと自然とのパイプ役として、府が募集した十八歳から二十歳代半ばまでの

府民の森パークレンジャーは十八歳から二十四歳までの若者二十五人で構成。六十人近くの応募者の中から面接などによって選ばれた。

健康的な野外活動プログラムを提供するのが狙いだ。府民の森での自然情報の収集や情報誌の編集、森の標識設置、補修作業も手がける。

レンジャーは、もともと森林監視人の意味だが、アメリカナショナルパークでは、一般向けの自然解説プログラムの指導も重要な仕事。

若者たちの「パークレンジャー」が本格的に活動を始めた。実際に野外に出てフィールドワークの現地研修をしたり、講習会に参加したりしながら、自然保護のための地域リーダーを目指している。

レンジャーは、金剛生駒国立公園内の金剛・生駒山系にある自然公園・府民の森を中心に活動。自然観察の指導や四季折々の自然の楽しみ方の紹介をしたり、森でのネイチャーイベ

ントの企画・運営を通じて行っている。メンバーは無報酬のボランティアとして活動。週に三、四回程度集まり、自然に関する研修や、キャンプ、フィールドワーク（野外観察）をしたりしながら、研修と実務に並行して

府ではレンジャーに豊かな自然感覚を養ってもらい、自然保護の普及・啓発のリーダーとしての活躍を期待。将来的には府内全域の森林・林地に活動領域を広げていきたいとしている。